

## 豊かな心と健やかな身体の育成

家庭・地域との密接な連携を図り、自分の生まれ育った地域を愛し

誇りとする心豊かな児童の育成

岩国市立藤河小学校PTA



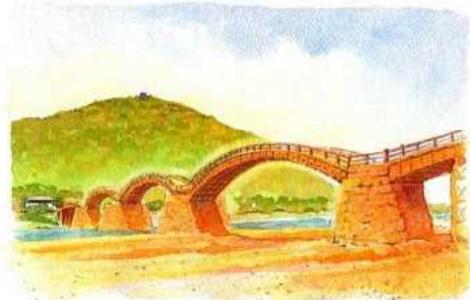
PTA会長 松重光信  
学校長 片山伸二  
児童数 106名  
所在地 〒741-0092  
山口県岩国市多田1365-2  
TEL: 0827-41-0774  
FAX: 0827-41-0911

### 1 学校地域の概要

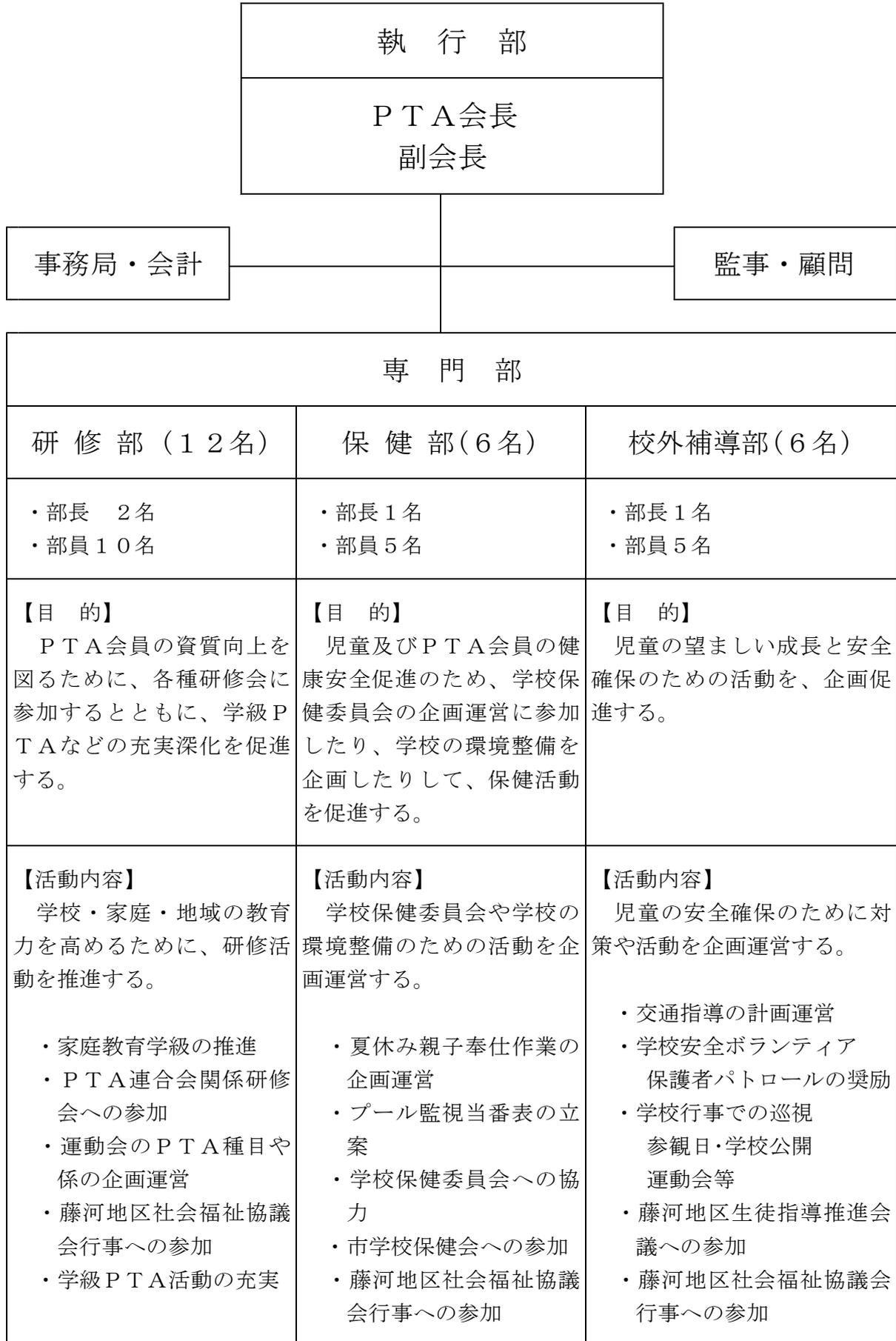
本校は、1868年（明治10年）1月、多田小学校として設立され、昭和15年まではこの名称で親しまれてきた。その後、太平洋戦争前に藤河国民学校と改称され、終戦後に現在の藤河小学校という名称に改称された。

本校は、岩国市のやや北寄りにあり、錦帯橋より約6キロ前後上流の、南は錦川沿い、北は300メートル前後の山地の麓に位置している。現在、藤河小学校区は多田・阿品・関戸・田原の4地区から形成され、地区の世帯数は1,007戸、人口は2,167人（平成26年12月末現在）、本校の家庭数は79世帯である。児童数は、昭和35年度の324人をピークに、それ以降は徐々に減少してきた。しかし、平成17年以降、校区内の宅地化の進行により住民数が増え、それに伴い児童数も増加しているが、田原地区から通学してくる児童はおらず、耕地から宅地化・商業地化へと変貌している多田地区への人口の集中化が進んでいる。

校区内には、幹線道路である国道2号線が通り、山陽自動車道の岩国インターチェンジや山陽新幹線の新岩国駅など近くにあることから、交通の要所ともなっている。また、岩国市役所の分館、公民館、郵便局等の公共施設や、病院、スーパー、小工場、マンション等ができ、昔ながらの町並みと新しい町並みとが共存している。



2 藤河小学校PTA組織と専門部の活動



### 3 研究テーマについて

心身ともに健康でたくましい実践力のある児童の育成をめざしたPTA活動

風光明媚な錦帯橋から錦川を上った山間の地域に本校は位置している。近年、本校校区の周辺は、宅地化・商業化されマンションや住宅が増えてきている。近くに新幹線駅や高速道路のインターチェンジもあり、新旧の住民が混雑した地域となっている。そのため、児童相互、保護者間、地域との関係づくりがなかなか難しくなっている。また、本校は各学年単学級であり、固定された人間関係の中で、相手を思いやる言動や主体的に課題を解決していこうとする力の育成が課題である。

そこで、児童の社会性を高め、主体的に物事に取り組んでいこうとする児童の育成をめざすことで、ふるさとを自分の目で見つめ直す活動や地域との連携した活動をとおして

- ・ 豊かな心の育成と未来を生き抜く力の育成
- ・ 意欲的に取り組むたくましい実践力の育成

をめざし、上記のテーマを掲げPTAと学校が連携して研究を推進してきたところである。

### 4 活動内容

#### (1) 盆踊り練習



よろしくお願いします！



岩国音頭って結構難しい?!



わからないところは、地域の方の踊りを見て、頑張らなくっちゃ！





あれっ？右と左が〜っ？

- 夏休み前の暑い中、総勢25名の学校ボランティアの方々や民生委員さんの手ほどきで、お盆に行われる「藤河地区納涼盆踊り大会」にむけて、「岩国音頭」をはじめ、3つの踊りを教えていただきました。盆踊りを踊り慣れていない1年生は、地域の方々の身振り手振りをまねて一生懸命練習していました。

児童は、毎年行われる「藤河地区納涼盆踊り大会」に参加することをとても楽しみにしていました。PTAも、毎年この盆踊り大会において地域との連携の一つとして、福引き係と夜店係を担当することになっており、そのためにこの盆踊りの練習が行われるころから、本年度の役割分担を夜遅くまで何回も全員の役員さんが集まって、実りのある盆踊り大会にしようと話し合いました。

#### 8月6日未明の豪雨災害の様子

しかし、今年は、8月6日未明に降り出した集中豪雨により、藤河地区は右の写真のような、大きな被害を受けました。突然の豪雨に多くの保護者も多大な被害に遭いました。床下・床上浸水だけでなく、車も水に浸かり使用できなくなったり、電気・ガス・水道のパイプラインが一時麻痺したりするなど、しばらくは復旧作業に追われる毎日が続きました。集中豪雨の翌日から、県内だけでなく周辺のボランティアの方々が、猛暑の中、復旧作業の手伝いに来てくださり、人の繋がり大切さと温もりに感謝するとともに、集中豪雨の恐ろしさを改めて感じさせられました。



しかし、今年は、8月6日未明に降り出した集中豪雨により、藤河地区は右の写真のような、大きな被害を受けました。突然の豪雨に多くの保護者も多大な被害に遭いました。床下・床上浸水だけでなく、車も水に浸かり使用できなくなったり、電気・ガス・水道のパイプラインが一時麻痺したりするなど、しばらくは復旧作業に追われる毎日が続きました。集中豪雨の翌日から、県内だけでなく周辺のボランティアの方々が、猛暑の中、復旧作業の手伝いに来てくださり、人の繋がり大切さと温もりに感謝するとともに、集中豪雨の恐ろしさを改めて感じさせられました。

集中豪雨の影響で、本年度の「藤河地区納涼盆踊り大会」は残念ながら中止になりましたが、子どもたちは、地域の方々が自分たちを温かく見守ってくださっていることとお父さん、お母さん達が地域とのつながりを大切にして、自分たちを育ててくれていることを感じたのではないのでしょうか。大きな被害を受けた藤河地区でしたが、人の心の優しさと暖かさ、たくましく前に進んでいくことの大切さ、そしてなにより“絆の大切さ”を、子どもたちに教えてくれたのではないかと思います。

## (2) スキー教室

スキー教室は、藤河小学校の特色ある教育活動の一つとして、20年以上にわたって行われている活動です。子どもたちには、日頃はできない自然体験ができるとともに、集団での活動をとおして協力や思いやりの心を育てる絶好の場であることから、PTAとしても支援を行ってきています。

本年度は、3学期早々から全国的に猛威を振るったインフルエンザに感染する子どもたちが多かったため、予定より1週間延期しての開催となりました。子どもたちは、スキー教室に行けるのか随分と心配していましたが、早朝のバスに乗り込んで行くどの子の顔も笑顔いっぱい、本当に楽しみにしていたんだと感じました。

### ① 日程

平成27年1月23日(金) ※予備日 1月30日(金)

※ インフルエンザによる欠席児童が多かったため30日に延期

- 開校式 7時45分
- 藤河小学校出発 8時
- 女鹿平スキー場到着 9時30分
- スキー教室開催 準備ができ次第開始
  - ・ 外部講師：5名(岩国市スキー連盟より派遣)
  - ・ 初級(2組) 中級(2組) 上級(1組)の5つの班  
それぞれの班に講師の先生と、学校の先生がついて指導
  - ・ 昼食休憩 11時30分から
  - ・ 昼食後午後のスキー教室開始
- 閉校式(スキー場にて) 14時50分
- 女鹿平スキー場出発 15時

### ② 目的

- 冬の自然に親しみ、雪山でのスポーツ活動を体験させる。
- スキーの初歩的な技術を学び、スキーの楽しさを味わう。
- 集団活動をとおして協力や思いやりの心を育てる。

### ③ 活動の様子



開校式  
今日一日 よろしくお願ひします！



スキーの装着  
なかなかうまくいかないなあ？



スキー教室  
いよいよ始まり！ドキドキッ！



まずは下の方で  
わあーっ！すべるっ！



ちょっと上の方へ  
やっこここまで来たけど、早く  
リフトに乗って滑りたいなあ！



まずは手始めに  
ハの字！ハの字で！なかなかバ  
ランスが取れないなあ。



しばらく練習をして  
ほーら、随分と上手に滑ること  
が出来はじめたぞ！



さらに練習して  
随分と滑る格好もよくなってき  
たでしょう！



上級コースへ  
林間コースは難しいけれど、す  
いすいと滑れだしたよ！



閉校式  
今日一日ありがとうございました  
とっても楽しかったです！

(3) 地域の方々とのふれあいの中で学ぶ

○ 養蜂場見学



甘い蜜のにおいが漂う養蜂場では、取れたての蜂蜜に舌鼓を打つとともに、蜂蜜以外のものも作られているという説明にびっくりでした。

○ 漬物店見学



県内でも有名な漬物屋さんでの見学で、校区内だけでなくたくさんの地域とのつながりを学びました。

○ パン屋さん見学



藤河小学校の保護者の方が経営されているパン屋さんでは、給食に出てくるパンをはじめたくさんのおいしいパンの行程の説明に、パンを作る方々の温かい気持ちを感じることが出来ました。

○ 読み聞かせ(ストーリーテリング)



どの学年の子どもたちも、語り手の声の強弱や身振り手振りに引き込まれるように、物語の中に溶け込んでいました。

○ 藤河地区公民館：太極拳講座



公民館での講座に飛び入り参加！初めて体験する太極拳に地域の方々の演舞を見よう見まねで頑張りました。

○ 吉高窯体験入学



ろくろを回すと、粘土の塊からいろいろな器ができあがります。藤河地区で焼き物を焼いておられる方々の手ほどきで、みるみる上達しました。

○ 冬のコマ



2学期も押し迫った12月の中旬に、岩国では珍しい雪景色が広がりました。子どもたちは、めったに雪が積もらないこともあり、1年生から6年生までほぼ全員の子どもたちは、降りしきる雪の中、雪合戦や雪だるまを作ったりと大はしゃぎです。登校中の雪合戦も、地域の方々が目を細めて見ておられました。



## 5 成果と課題

心身ともに健やかな子どもたちを育てていくためには、保護者と学校との連携だけにとどまらず、地域をも巻き込んだ中で進めていくことが大切である。本年度、山口県PTA連合会の研究指定校として、学校がこれまで推し進めてきた教育活動の中で、家庭がどう関わっていけばよいのかということを中心に置き取り組んできた。子どもたちは地域の大切な宝であるとともに、これからの社会を担っていく子どもたちの健全育成には、PTAとして学校とこれまで



以上の連携を図り、地域への働きかけが大切であるということを再認識させられた。これまでもPTAとして、地域とは夏の納涼盆踊り大会や藤河地区文化祭などの行事をとおして繋がりを続けており、成果を上げてきていたが、今後はPTAとしてより積極的に、情報発信、地域への呼びかけなど、地域に関わっていくことも必要である。

藤河小学校校区では、コミュニティースクールは準備段階でまだ立ち上がっていないが、地域のたくさんの力を活かし、これまで以上の学校との信頼関係を醸成しながらPTAとして主体的に活動を進めていくことが、本校PTA活動の活性化につながり、子どもたちをより健やかに育てていく力になると考える。

### (成 果)

- 読み聞かせや子どもたちの地域学習への支援において、豊かな心の育成につながった。
- スキー教室を止めていく学校が多い中で、20年以上続いているスキー教室においては子どもたちは、豊かな自然の中で「雄大さ」と「厳しさ」を感じるとともに、子どもたちに協力することと相手のことを思いやることの大切さを、感じ取らせることができた。

### (課 題)

- 今後も「継続は力なり」という言葉があるように、学校・地域との連携を大切に活動を進めていくことが大切である。
- スキー教室は費用がかかることから中止の声も近年上がっている。しかし、スキー教室が終わった後、帰宅してきた子どもたちの達成感に満ちた顔を見ると、何とか継続していく方策を検討する必要がある。
- コミュニティースクール立ち上げに向け、より時代のニーズにあった取組を展開していくことが必要である。

